ほんとうに水は無限なのでしょうか

■太古の昔から変わらない水の量

地球上の全水量はおおよそ14億km³で、その97%が海水です。この水は、地球の表面から蒸発して雲になり、雨や雪となって、また地上に降りてきます。そして、川や地下水となり、やがて海に戻っていくのです。このような循環をくり返す水は、太古の昔から増えも減りもしていないのです。自然の大きな恵みでもある水は、新たにつくりだすことのできない貴重な財産といえるでしょう。

■水は限りある資源です

水の循環の中で私たちは水を利用しているわけですが、大切に利用しないと使える水がなくなってしまうこともあるのです。日本は、人口1人あたりの降水量が少ない国です。そのうえ、河川の流域面積も小さく急勾配であるため、降った雨を平均化して流すことができないのです。日本の水資源は、決して豊かとは言えません。すべての人が水の恩恵にあずかるために、ひとりひとりが、いまー度水の上手な使い方を考える必要があります。

■世界主要国の降水量の比較

平均降水量		1人当たり年降水総量	
(mm/年) 1 2,000 1,000		(m³/人·年) 100,000 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
オーストラリア	534	18	2,863
カナダ	537	156	5,092
スウェーデン	624		29,762
アメリカ合衆国	715		22,452
フランス 8	67	7,5	43
フィリピン 2,348		7,426	
日本 1,668		4,984	
イギリス 1,22	20	4,744	
中国 645		4,492	
世界平均 8	313	1	5,604



